

令和5年度 原子カシステム研究開発事業 成果報告会

開催日 令和6年3月11日(月) 13:00~17:20

会場 WEB 開催

プログラムのご案内

13:00~	開会・挨拶、事業説明等
13:10~	次世代原子カシステム用事故耐性被覆管の照射特性評価技術の開発 大塚 智史 (日本原子力研究開発機構)
13:35~	ハニカム冷却技術による超臨界圧軽水炉のIVR確立 森 昌司 (九州大学)
14:00~	FFAG陽子加速器を用いたADS用核データの実験的研究 岩元 大樹 (日本原子力研究開発機構)
	休憩(10分)
14:35~	廃棄物処分の環境影響を基点とした原子カシステム研究 朝野 英一 (原子力環境整備促進・資金管理センター)
15:00~	地震荷重を受ける配管系の非弾性を考慮した高精度シミュレーションモデルの構築 中村いずみ (防災科学技術研究所)
15:25~	過酷事故対応電子機器の実用化に向けた耐放射線・高温動作半導体デバイスの高性能化 梅沢 仁 (産業技術総合研究所)
	休憩(10分)
16:00~	可搬型950keV/3.95MeVX線・中性子源による福島燃料デブリウラン濃度評価・仕分けとレギュラトリエンス 高橋 浩之 (東京大学)
16:25~	国内の原子カインフラを活用した医用RIの自給技術確立に向けた研究開発 高木 直行 (東京都市大学)
16:50	高速炉における炉心損傷事故の発生を防止する受動的炉停止デバイスの開発 守田 幸路 (九州大学)
17:15~	まとめ・閉会

※1 課題あたり25分(説明15分、質疑応答10分)